

出版社で働く人の話を聞いてみよう!

第6期 子ども司書講座

新聞

第5号

第5回目の講座は、出版社で働く人からお仕事のお話を聞きました。普段、皆さんが本屋さんで買ったり、図書館で借りる本は、いろいろな出版社さんが作っているものです。図鑑のように沢山の写真がのっている本、楽しい読み物や絵本、本の種類が沢山あるように、出版社にもいろいろな出版社さんがあります。どんなお仕事をしているのか? 出版社ってどんなところ? 本ができるまでにどんな人たちが関わっているのかを、どんな話しいえをして本をつくらせていくのかを聞いてみました。



澄田さんは、手元に本が届くまでの全体の流れを説明してくれました。どんな本をつくるのか皆で話し合いをして、作家さんと沢山打ち合わせをするのがとても大変そうでした。特に原稿に間違いがないか確認するために赤ペンで修正をしたものを特別に見せてくれました。小さな、見逃してしまいがちな間違いも、とても細かい作業なんだという印象を受けました。こんなにも大変で多くの人が関わって作られているのがよくわかる貴重なお話となりました。小枝さんは、出版社からどのように本が届けられるのか?などを説明してくれました。お話のあとは、出版社の方が本を沢山持ってきてくれたので、選書を行いました。小枝さんにやる選書のポイントの説明もあつたので、皆さん、さくさく本を選んでいました。今回説明していただいた学研プラスの皆さん、ありがとうございました!!



次回の講座予定

次回の講座は、9月16日(土)午前10時~です。本の装幀を体験します! 汚れから本を守るコートを貼ります。覚えたら便利な“技(わざ)”ですよ~♪